

コンビニエンスストアの商品棚の自動レイアウトシステム

015217 山根 康介

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

あるコンビニエンスストアの場合、商品の配置を決める際、参考にされる配置図が本部より半年に一度しか送られてこない。

この配置図は、その時点での商品別優先度、季節商品、週間優先商品には対応しているが、次回以降の配置変更では参考にならない場合がある。そのため、それぞれの担当者が再配置をするとき、その都度配置を考案する手間がかかってしまう。

そこで、商品情報に基づいて大分類ごとの配置図を作成するシステムを提案した。

2. システム構成

本システムは Visual Basic6.0 を用いて構築した。

起動時に商品情報を格納する CSV ファイルと設定を記録したテキストファイルを読み込み、data として格納する。

初期設定から棚のサイズの設定を入力、または変更し、配置設定から分類別配置と商品別優先度、季節商品、週間優先商品のそれぞれの優先順位を設定する。配置設定画面を図 1 に示す。

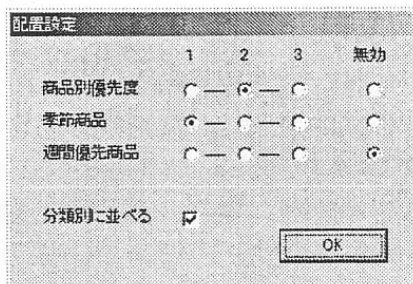


図 1 配置設定画面

描写ボタンをクリックすることで、初期設定項目、及び配置設定での設定項目から在庫商品のみの選別、判断項目に基づくソート、配置の決定をした上で、メイン画面に配置図と配置番号を添付した商品のリストを表示する。描写後のメイン画面を図 2 に示す。

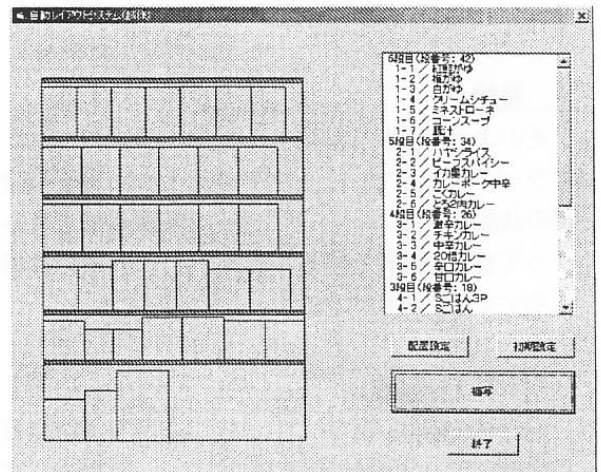


図 1 描写後のメイン画面

3. まとめと今後の課題

コンビニエンスストアで商品を配置する上での問題を分析し、売れ筋判断情報に基づいて配置を考案するのに手間がかかることを問題定義し、3種類の判断項目の順位を任意に設定することで、配置をシミュレーションできるプログラムを作成した。これにより、配置を考案する手間を短縮できると考えられる。

今後の課題として、作成した配置を実際の配置に反映し、売れ行きを調査することが挙げられる。